

クビアカツヤカミキリの被害状況について

県では、平成29年度から県内におけるクビアカツヤカミキリの被害状況調査を実施しています。今年度の被害本数は7,657本で、増加率は対前年比1.01倍とほぼ横ばいですが、新たに安中市で被害が確認され、被害発生地域は16市町村となりました。

1 調査概要

- (1) 調査内容：市町村及び県で把握している被害状況（フラス [幼虫のフンと木くずが混ざったもの] が出ている被害木及び成虫の確認）
- (2) 調査期間：令和5年4月1日～令和5年8月31日



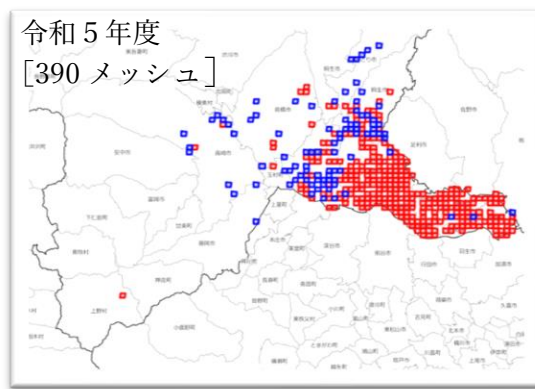
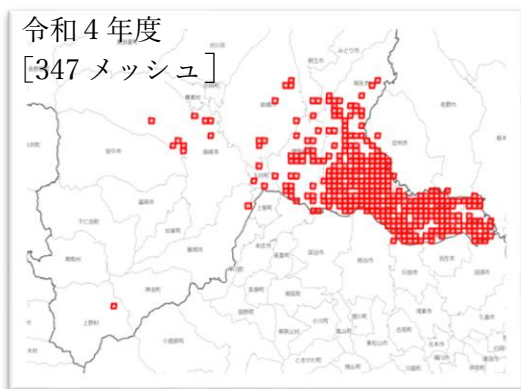
2 被害の傾向

- ・ 複数の市町村において、被害本数の増加が抑えられており、住民の協力を得て行う取組や、これまで市町村や県が実施してきた防除対策の効果が表れているものと考えられる。
- ・ 依然として新たな被害の発生が確認されており、被害発生地域の拡大が続いている。
- ・ 果樹等の生産園地については、被害本数の増加は抑えられている。

3 今後の対策

- (1) 被害発生地域の拡大防止
防除対策経費の補助により薬剤注入対策に取り組む市町村を引き続き支援するとともに、「ぐんまクビアカネット」など住民の協力を得て行う早期発見・早期駆除の取組を強化して、被害発生地域の拡大防止につなげる。
- (2) 被害発生地域における被害の抑制
薬剤注入による防除を中心に、成虫の捕殺等の対策も組み合わせて実施して、成虫の生息密度の低減を図っていく。
- (3) 農業被害の抑制
防除対策を徹底するため、栽培講習会などで防除技術を生産者に周知するとともに、より効果的かつ効率的な防除技術の確立に向けた実証試験に取り組んでいく。

＜被害発生状況の推移＞ クビアカツヤカミキリ被害の発生地を1km四方メッシュ単位で色付け表示



■ …令和4年度被害発生メッシュ

■ …令和5年度新規被害発生メッシュ

<市町村別・樹種別被害状況>

No.	市町村	被害本数 (令和5年度)	被害樹種(令和5年度)					参考：過去の被害本数					
			サクラ	ウメ	モモ	スモモ	その他	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
1	前橋市	81	21	0	44	3	13	-	-	-	-	4	76
2	高崎市	72	3	3	49	16	1	-	-	-	5	41	25
3	桐生市	564	432	130	1	0	1	-	-	-	28	38	263
4	伊勢崎市	248	168	43	22	10	5	-	-	-	17	12	110
5	太田市	2,495	2,033	429	33	0	0	5	164	388	1,231	2,335	2,820
6	館林市	1,405	1,234	100	1	57	13	219	496	1,272	1,323	1,758	1,531
7	藤岡市	8	4	0	0	0	4	-	-	-	-	-	6
8	安中市	1	0	0	0	1	0	-	-	-	-	-	-
9	みどり市	153	55	6	40	8	44	-	-	-	6	20	54
10	上野村	4	0	0	0	4	0	-	-	-	-	-	8
11	玉村町	19	15	0	1	3	0	-	-	-	-	-	12
12	板倉町	816	793	16	0	0	7	4	33	168	248	576	778
13	明和町	317	289	0	22	6	0	123	311	434	476	387	291
14	千代田町	345	343	1	1	0	0	47	120	202	382	375	426
15	大泉町	777	759	18	0	0	0	105	194	658	765	864	777
16	邑楽町	352	336	4	7	1	4	179	192	439	479	499	419
16市町村合計 (うち果樹園等)		7,657 (720)	6,485 (0)	750 (453)	221 (175)	109 (77)	92 (15)	682 (117)	1,510 (394)	3,561 (381)	4,960 (729)	6,909 (788)	7,596 (904)

(注1) 被害樹種のうち「その他」は、ハナモモ、アンズ等

(注2) 果樹園等は、果樹及び花き類枝物の生産園を示す

(注3) このほか、吉岡町内、榛東村内、甘楽町内のそれぞれ1箇所成虫が確認されたが、樹木被害は確認されていない

